PN Y613-06538-00 Rev.A

CG-SW08TXTAP 取扱説明書



この度は、CG-SW08TXTAPをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品は、10BASE-T/100BASE-TXポートを8ポート装備したファーストイーサネット・タップスイッチです。
本書では、ご使用いただくうえでの注意事項や設置の方法、障害が発生したときの対処方法や製品仕様について説明しています。
本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。



安全のために

必ずお守りください

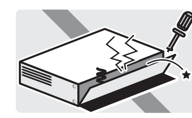




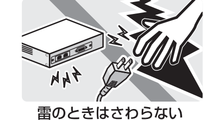
警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない
本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



雷のときはケーブル類・機器類にさわらない
感電の原因となります。



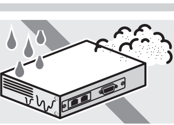
異物は入れない　水は禁物
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

異物厳禁

通風口はふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



湿気やほこりの多いところ油煙や湯気のあたる場所には置かない
火災や感電の原因となります。



表示以外の電圧では使用しない
火災や感電の原因となります。
本製品はAC100-120Vで動作します。

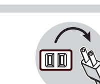




コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

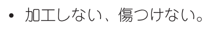
たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。





電源ケーブルを傷つけない。
火災や感電の原因となります。
電源ケーブルやプラグの取扱上の注意：



- 加工しない、傷つけない。
- 重いものを載せない。
- 熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください

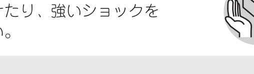
- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度80%以下の環境でご使用ください）
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 腐食性ガスの発生する場所



静電気注意
本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。

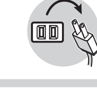


取り扱いはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、堅く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください
石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）





1 特長

- ○ 小型で軽量のプラスチック筐体を採用
- ○ 10BASE-T/100BASE-TXポートを8ポート装備
- ○ オートネゴシエーション機能をサポート
- ○ 全ポートMDI/MDI-X自動切替機能をサポート
- ○ フローコントロール機能をサポート
  Half Duplex 時：バックプレッシャー
  Full Duplex 時：IEEE802.3xPAUSE
- ○ 最大4000個のMACアドレスを登録可能
- ○ AC電源を内蔵
- ○ ポートの通信状態が一目でわかるLEDを装備
- ○ 背面のマグネットでスチール面への設置可能

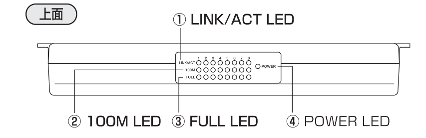
2 梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。

- □ CG-SW08TXTAP 本体（1台）
- □ 製品保証書 （1枚）
- □ 取扱説明書（本書）

また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。
再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

3 各部の名称と機能



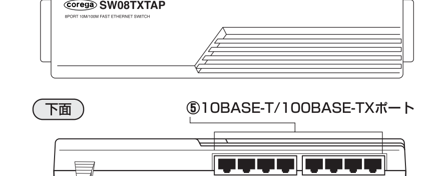


図1 外観図

① **LINK/ACT LED（緑）**
ポートと接続先機器がリンクした時に点灯します。
また、パケットを送受信しているときに点滅します。

② **100M LED（緑）**
ポートが100Mbpsで動作しているときに点灯します。

③ **FULL LED（緑）**
ポートがFull Duplexで動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half Duplexで動作していることを示します。

④ **POWER LED（緑）**
本体に正常に電源が供給されているときに点灯します。

⑤ **10BASE-T 100BASE-TXポート**
10BASE-Tまたは100BASE-TXのＵTPケーブルを接続するためのコネクターです。

⑥ **電源ケーブル**
電源コンセントに接続するためのケーブルです。

⑦ **マグネット**
デスクサイドやスチール製のパーティションなどに設置するマグネットです。

⑧ **シリアル番号／リビジョンコード**
シリアル番号（S/N）とリビジョンコード（R.ev.）です。本製品についてのお問い合わせをする時、必要になります。

4 アイコンの説明

アイコン	意 味	説 明
メモ	メモ	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。

5 設置

本製品の設置を始める前に、必ず**「安全のために」**をよくお読みください。

設置準備

● 接続ケーブルを用意する

すべてのケーブルが機器間を接続するために適切な長さであることを確認します。

	種類	最長距離
10BASE-T	UTPケーブル（カテゴリー３以上）	100m
100BASE-TX	UTPケーブル（カテゴリー５以上）	100m

● 設置場所を確認する

本製品を設置する場所を確認してください。設置場所については、以下にご注意ください。

○ 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。

○ 振動の多い場所や,不安定な場所に設置しないでください。

○ 充分な換気ができるように、本体をふさがないように設置してください。

○ テレビ、ラジオ、無線機などのそばに設置しないでください。

○ 電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような設置はさけてください。

○ コネクターの端子にはさわらないでください（静電気を帯びた手（体）でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります）。

設置

● マグネットによる取り付け

本製品は、背面のマグネットを使用してスチール製の壁面に取り付けることができます。



・取り付けの際は機器およびケーブルの重みにより機器が落下しないように確実に取り付け・設置してください。ケガ・故障の原因になることがあります。

・機器をマグネットで高所に取り付けないでください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。

・振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。落下によるケガ・故障の原因となることがあります。

・OAデスク等にマグネットで機器を取り付けたまま、機器をずらさないでください。被着面の塗装などに傷がつく恐れがあります。

・マグネットにフロッピーディスクや磁気カードなどを近づけないでください。磁気の影響により記録内容が消去される恐れがあります。

・機器をマグネットでパソコンおよびディスプレイなどの電子機器には取り付けないでください。



・設置面の状態によってはマグネットの充分な強度を得られないことがあります。

・マグネットの設置面によっては、内部の部品が磁束の影響を受けることで通信に不具合が起こる可能性があります。その際は、マグネット設置面を変更するなどの対応を行ってください。

6 接続

通信速度 / 通信モードの設定

IEEE802.u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、必ず接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。

UTPケーブルの接続

1. 本製品に UTPケーブルを接続する

本体のポートに UTP ケーブルを接続します。

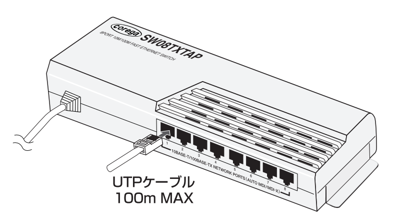


図２ UTPケーブルの接続

2. UTPケーブルのもう一方を端末と接続する

ネットワークに接続する端末に 10BASE-T または 100BASE-TX ネットワークインターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTP ケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェースカードに接続します。

電源ケーブルの接続（本製品の起動）

本製品は、電源プラグを電源コンセントに接続することで電源が入ります。



本製品には電源スイッチがありません。電源ケーブルを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。

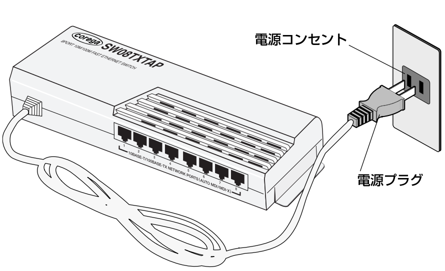


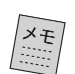
図３ 電源ケーブルの接続

このとき、本体前面の POWER LED（緑）が点灯することを確認してください。

UTP ケーブルが正しく接続され、接続先機器とのリンクが確立されると、接続したポートの LINK/ACT LED（緑）が点灯します。

● 本製品の停止

本製品を停止するには、電源プラグを抜いてください。



電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

7 スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。本製品と端末間の UTP ケーブルの長さは 100m 以内にしてください。

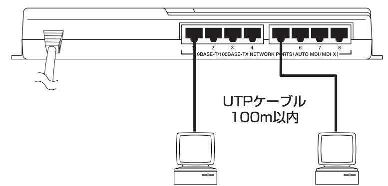


図４ スタンドアローンの接続例

8 カスケード接続

本製品は、全ポートで MDI/MDI-X 自動切替機能をサポートしていますので、ケーブルの種類（ストレート / クロス）および接続先のポートの種類（MDI/MDI-X）を意識することなく、簡単にカスケード接続ができます。



スイッチ同士のカスケード接続は、カスケードできる数に理論上の制限がありません。そのため、用途に合わせてネットワークを拡張することができます。



カスケードの段数はネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限される場合があります。

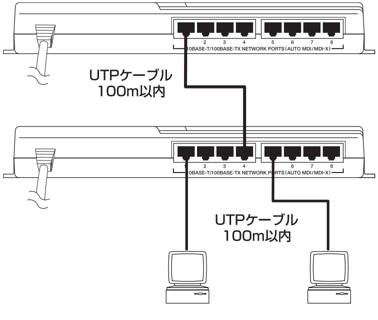


図５ カスケードの接続例

本体の任意のポートに UTP ケーブルを接続し、もう一端を接続先機器の任意の 10BASE-T/100BASE-TX ポートに接続します。

9 トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

● POWER LED は点灯していますか？

POWER LED が点灯していない場合は、電源ケーブルに断線がないか、電源ケーブルが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

● 電源をオフにした後、すぐにオンにしていませんか？

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

● LINK/ACT LED は点灯していますか？

LINK/ACT LED は接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

○ 接続先機器に電源が入っていることを確認してください。

また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードが正しく接続され、障害がなく通信可能な状態にあることを確認してください。

○ 正しい UTP ケーブルが断線なく正しく接続されていることを確認してください。

○ UTP ケーブルの長さが制限を越えていないことを確認してください。

２つのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています。

○ UTP ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。

○ UTP ケーブルに問題がないか確認してください。

ケーブルの不良は外観からは判断しにくいため、他のケーブルに交換して試してみてください。

○ 接続先機器の通信モードを確認してください。

本製品のポートは、オートネゴシエーション機能をサポートしています。

IEEE802.3u 規格の、オートネゴシエーション機能をサポートしていない製品と本製品を接続する場合は、接続先機器の通信モードを Half Duplex に設定してください。

● HUBの接続段数は正しいですか？

リピーター（＝ HUB）の数が制限を越えていないか確認してください。

○ イーサネット（10Mbps）の場合、カスケードできるリピーターの台数は、最大４台までとされています。

○ ファーストイーサネット（100Mbps）の場合、クラス II のリピーターは、１つのコリジョンドメイン内で２台までをカスケード接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは 5m 以内としてください。クラス I のリピーターはカスケード接続することができません。

10 製品仕様

準拠規格	
	IEEE802.3 10BASE-T IEEE802.3u 100BASE-TX IEEE802.3x Flow Control
電源部	
定格入力電圧	AC100 -120V
入力電圧範囲	AC 90 -132V
定格周波数	50/60Hz
定格入力電流	0.2A
最大入力電流（実測値）	0.12A
平均消費電力	5.3W（最大5.8W）
環境条件	
動作時温度	0 ～ 40℃
動作時湿度	80%以下（結露なきこと）
保管時温度	-20 ～ 60℃
保管時湿度	95%以下（結露なきこと）
外形寸法（突起部含まず）	
	265(W) x 67(D) x 37(H) mm
質量	
	410g
スイッチング方式	
	ストア＆フォワード
MACアドレス登録数	
	4000個（最大）
MACアドレス保持時間	
	300秒
メモリー容量	
パケットバッファー容量	256 KByte

11 保証と修理について

■ 保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本製品を正しくご使用ください。
無条件で本製品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用された場合のみ、保証の対象となります。
本製品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■ 修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上、必要事項を記入したものと、製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシート等可）を添付し、製品（添付品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

※弊社へのお持込による修理は受け付けておりません。

●修理期間中の代替機等は弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

●保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

●製品購入日の証明ができない場合は、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

●修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますのでご覧ください。

http://www. corega.co.jp/repair/

12 製品に関するご質問は…

製品に関するご質問は、弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または、下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、コレガサポートセンタまでメール、FAX、電話のいずれかでお問い合わせください。

※製品のお持込によるサポートは受け付けておりません。

お問い合わせ先

Mailサポート ： 下記のURLからユーザ登録した後、お問い合わせください。
http://www.corega.co.jp/faq
FAX ： 045-476-6294
TEL ： 03-3797-1085
受付時間 ： 10:00～12:00、13:00～18:00 月～金（祝・祭日を除く）
必要事項 ： ご質問の前に、あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。
・製品名
・シリアル番号（S/N）
・リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX番号
・購入店
・購入日付
・ご使用のパソコン、OS
・ネットワーク構成
・お問い合わせ内容
（できる限り詳しくお知らせください）

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
・本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright ©2005 株式会社コレガ
coregaは、株式会社コレガの商標です。
Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの商標または登録商標です。
2005年1月 Rev.A 初版